

令和7年度



体験活動指導者のためのファシリテーションセミナー

趣旨

ファシリテーションの手法をもとにしたアクティビティの体験、講義、実践を通して体験活動指導者に求められる知識・技能を習得する機会を提供するとともに、参加者の指導能力の向上を図る。

対象

学校教育・青少年教育関係者、スポーツ指導者など18歳以上の方

DAY1 (1/17)

参加者12名

10:00	12:00	13:00	16:00
オープニング オリエンテーション	アクティビティを 体験する	昼食 休憩	アクティビティを 体験する
			理論について知る

Goal

アクティビティの体験を通して「体験学習サイクル」について説明できるようになる

「アクティビティを体験する」

アイスブレイクや課題解決型のアクティビティを体験しました。



「理論について知る」

アクティビティの体験を通して起きたグループの変容をもとに「体験学習サイクル」について学びました。



アンケート

※参加者12名のうち9名が回答

DAY1の満足度	人数	割合
非常に満足	9	100%
やや満足	0	0%
やや不満	0	0%
不満	0	0%

「体験学習サイクル」について	人数	割合
説明できるほど理解できた	1	11%
理解できた	7	78%
一部理解にとどまっている	1	11%
理解できなかった	0	0%

- ・多くのアクティビティを体験し、体験活動サイクルについて知ることができた。
- ・今度の主催で長めのレク(みんなの協力が目的)をするのでただ漠然とファシリテーションでレクを体験するのではなく明確な指標を持ってレクを体験できたことが非常に良かったです。
- ・たくさんのアクティビティを知って、それぞれやり方や目標のたて方などを知れてよかった！また、受け手によってどんな活動がいいのかを考えられるようにしていきたいと思います。
- ・知らないアクティビティがたくさんあった。次の出前隊に使えるものも多く、非常に自分の力になった。
- ・ファシリテーターとしての研修ではありますが、他の施設の方との交流も兼ねて、研修者としての立場で受けられました。とにかくたくさんのアクティビティをしたことで、引き出しがまた少し増えました。
- ・様々なレクリエーションを通して、協力することの大切さや難しさ、達成感を感じることができた。また、自分の引き出しを増やすことができ、今度の団体支援に活かしたいと感じた。
- ・社会教育施設の職員だけでなく、市町村の教職員や一般の人も含め、もっと多くの人にこのセミナーが広がるといいなと感じました。



## DAY2 (1/24)

参加者12名

10:00

12:00

13:00

16:00

アクティビティを体験する  
理論について知る

昼食  
休憩

アクティビティの特性について  
考える

## Goal

アクティビティの特性やバリエーションについて考えを深めることができる

「アクティビティを体験する」

DAY1では体験できなかった、  
「信頼」を必要とするアクティ  
ビティにもチャレンジしました。

「アクティビティの特性について考える」

アクティビティの分類について整理し、グ  
ループごとにアクティビティの特性やバリ  
エーションについて深掘りました。



## アンケート

DAY2の満足度	人数	割合
非常に満足	11	92%
やや満足	1	8%
やや不満	0	0%
不満	0	0%

アクティビティの分類について	人数	割合
説明できるほど理解できた	1	8%
理解できた	9	75%
一部理解にとどまっている	2	17%
理解できなかった	0	0%

アクティビティの特性について	人数	割合
対話を通して新しい視点を得て、理解が大きく深まった	1	8%
他者の意見を聞き、理解を深めることができた	9	75%
違いがあることは分かったが、理解は十分できなかった	2	17%
理解を深めることは難しかった	0	0%

- ・主催行事や、学校現場に行った時に、生かせるし、直近で主催行事の中のアイスブレイクを任されているので、組み立て方のお話も聞けて、とても良かったです。
- ・今まで集いなどでレクをたくさんやってきたが今までにない視点でレクを見れたのが良かったです。
- ・最後のアクティビティを考えると、積極的にかかわろうとする人と、消極的な人とがみんな動きたいと思えるようにどのアクティビティと組み合わせるとよいかを考えたところが非常に良かった。色んな視点から考えることができたので、考えが深まったと思う。
- ・いつもできないことができた。人それぞれ様々な考えがありそれが自分の学びにつながった。今回やったことの中で集いでできそうなものがあればチャレンジしてみたい。
- ・自分がやったことのないアクティビティに取り組めて、その目的や特性について考えることができた。また、知っているものでもルールが違ったりして新鮮だった。
- ・グループでの話しあいの中でどういう声かけをすれば相手に伝えることが出来るかや等を深掘りすることが出来き勉強になりました。



DAY3 (1/31)

参加者12名

10:00	12:00	13:00	16:00	
グループをみる視点について考える	昼食 休憩	ファシリテーションの手法について知る	アクティビティを組み立てる	クロージング

Goal

「グループをみる視点」について説明できる  
グループに応じてアクティビティを組み立てることができる  
ふりかえりの手法について理解している

「グループをみる視点について考える」  
グループをみる視点（GRABBSS）について学んだあと、グループを見取るためのルーブリック表（評価項目と評価基準）を作成しました。

「アクティビティを組み立てる」  
グループごとに実施アクティビティを計画し、その後、発表、フィードバックをしあいました。



CASE 3

対象  
場所  
時間

180分

依頼者のねがい

インターハイも終わり、新人戦にむけての新チーム発足にあたり、チームビルディングの依頼。互いを尊重し、活発なコミュニケーションをとれるチームになるためのきっかけとなってほしい。

アンケート

DAY 3 の満足度	人数	割合
非常に満足	11	92%
やや満足	1	8%
やや不満	0	0%
不満	0	0%

グループをみる視点について①	人数	割合
説明できるほど理解できた	1	8%
理解できた	10	83%
一部理解にとどまっている	1	8%
理解できなかった	0	0%

グループをみる視点について②	人数	割合
対話を通して新しい視点を得て、理解が大きく深まった	8	67%
他者の意見を聞き、理解を深めることができた	4	33%
違いがあることは分かったが、理解は十分でなかった	0	0%
理解を深めることは難しかった	0	0%

ファシリテーションスキルの活用について	人数	割合
積極的に試してみたいと感じた	10	83%
機会があれば取り入れてみたい	2	17%
関心はあるが、すぐには難しそう	0	0%
現時点では取り入れるイメージが持てない	0	0%



- ・1日だけでも学びになりました、ありがとうございました。3日連続で受けたかったです。
- ・指導者の立場として、ここまで綿密に計画を立てたことがなかったので、シンプルに楽しいと感じました。他の施設の方と意見交換をしたり、実際にやるイメージをしたりしながら話し合えたことが満足の理由です。
- ・実際にアクティビティを体験して、子ども、指導者の視点になって考え、理論を学び、その理論を活かして職員同士で話し合い、シークエンスするという流れでとても勉強になりました。インプットした分アウトプットして行き、試行錯誤しながら思考し考えを深めて行き、正解をたくさん作って行きたいと思いました。
- ・グループをみる視点について全員で話し合い、普段何気なくやっていたレクの理由だったり他の人の考えを聞けて良い勉強になった。
- ・全日程を通して多くの種類のアクティビティを知り、様々なケースの課題を考える中で今後の自身の施設の課題解決にも繋がっていくと感じて大変勉強になりました。
- ・大変大きな学びになり、少し団体に向けてするのが、不安だったがやってみたい、できそうと思えるようになりました。